

令和6年度第1回芽室町総合計画審議会 議事録

令和6年8月21日（水）18:30～20:40

芽室町役場 2階会議室7・8

■出席委員（11名）

貫田会長、廣江副会長、太田副会長、岩野委員、岡田委員、小池委員、白銀委員、鈴木委員、棚瀬委員、花岡委員、林委員

■欠席委員（4名）

江口委員、黒田委員、小林委員、竹澤委員

■事務局

有澤政策推進課長、大石政策調整係長、天野

■説明員

佐々木子育て支援課長、山田子育て支援課長補佐兼児童係長、喜多子育て支援係長、森健康福祉課長、上嶋健康福祉課長補佐兼社会福祉係長、橋本障がい福祉係長、吉川保健推進係長、久保高齢者支援課長、高谷高齢者支援課長補佐、竹内介護予防係長、佐々木高齢者支援課長補佐兼在宅支援係長、柳澤介護保険係主査、佐藤都市経営課長、佐藤都市経営課長補佐兼都市経営係長、杉山都市経営課長補佐兼建築住宅係長、山田都市経営係主査、橋本環境土木課長、齋藤環境土木課参事、久保田生活環境係長、本保道路公園維持係長、林道路公園管理係長、平本道路整備係長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和6年度第1回総合計画審議会を開会します。欠席のご連絡を、小林委員から、遅参のご連絡を小池委員からいただいております。

会長

お忙しいところ第1回総合計画審議会にお集まりいただきありがとうございます。災害級に暑い日が続き、大変な夏であったと思います。今年は、全部で5回審議会がありますので、進行を務めてまいります。

■2 事務局説明

■3（1）調査事項 2024年度施策マネジメントシートについて<資料1>

①安心して生み育てることができる子育て支援

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

子ども医療費給付事業の対象年齢の拡大はいいと思う。個人的に前進したと感じる。

会長

他に意見がないようなので評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

②子育て環境の充実

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

専門部会で意見として出ている「おやつ提供の再開」の意見について、おやつの在り方については、以前審議会でも話しをされていて、再開することで起こる問題があり、再開するのは難しいという結論が出ている。どうすれば職員の負担なしで提供を再開することができたり、期待に応えられるかなどイメージをすることができないため、説明をしてもらえるとありがたい。

佐々木子育て支援課長

おやつについては、芽室町は放課後児童クラブだけでなく児童館も運営している。その時点で、他町村よりも手厚い子育て支援をしている。おやつを用意するにしても、放課後児童クラブの利用は予約制であるが、児童館は何人利用するかが分からないため、おやつが貰える・貰えないという問題が出てくる。おやつの手配・準備をする職員の負担を考えた時に、月額6千円いただいていたものをやめて、芽室町は全児童対策をしっかり行っていくとしている。

委員

おやつの問題は数年前からホットボイスでも挙げられており、芽室町は、子育てに優しくないというイメージが勝手についているかもしれない。しかし、この背景にもいろいろ

ろあり、おやつを提供がないことだけが大きく出てしまい、子育てに優しくないというイメージをされるのは損である。子どもに対して優しい支援をしていることが伝わるといい。

会長

ホットボイスへの回答で、皆さんに理解していただくことしかできないのではないかと丁寧に回答することが一番有効だと思う。

委員

欠食児童が多い。子どもの健康を考えた時に、遅い時間まで何も食べられないことは問題ではないか。そういう観点での吟味も必要なのではないか。

委員

ニュースでも、9人に1人が貧困であるとされていて、1日3食まともに食べることができないという子どももいる。同意見である。

委員

そうすることで、また職員の負担などの別の問題が出てくる。5. 施策の課題認識に「民間活力活用を含めた運営手法について、検討することとしている。」と記載があるが、民間委託ということか。

佐々木子育て支援課長

委託という方法で優位性があるのであれば、選択肢として運営方法を検討中である。

会長

他に意見はないようなので、評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

③生涯を通じた健康づくり

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

会長

意見がないようなので、評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

④障がい者の自立支援と社会参加の促進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等の下段に「複数の障がい福祉に係る事業所等の事業展開が進んでおり～」とあり、支援の広がりが目に見える。前進したと感じる。ブルーハンカチプロジェクトについても、話し合いの場を作るということで発達支援の問題について理解を広めようと活動し、公民館に50人近い人が関心を持ってきてくれた。事業所に通われている方以外もいて、関心が広がっていると感じる。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑤互いに認め合う地域社会の形成

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

人権教室を行っており、芽室町は、担当課の職員も来てくれているが他の町村はそんなことはあまりない。芽室町から影響を受けて、清水町も職員が来るようになったらしい。しかし、今のメンバーが変わったら人権教室も終わってしまう可能性がある。今

は多才な人がいるが、次の人権擁護委員のなり手がいない。人権教室をやってみて、人権意識の必要さが分かるようになってきた。町として、ある程度組織化しないと続かないと思う。小学校・中学校（芽室南小学校を除く）でやっている人権教室を絶やさないでほしい。学校教育や人権担当が協力していくべきである。成果指標②の69.6%という結果について、「活動している割には成果が出ていない」と言われた。効果が出るのに時間がかかることであり、組織化することで、住民の個人主義に歯止めをかけるのではないか。また、町内会の意識を変えるところまでつながってくる。担当課も力を入れてくれているのと人権擁護委員も頑張っている状況で、人権教室を終わらせないために組織化を進めてほしい。

森健康福祉課長

人権擁護委員の皆様には、精力的に取り組んでいただいている。小・中学校以外にも、昨年度の終わりには、福祉事業所職員向けにも始めてくださり、活動の幅を広げられている。障がいの施策でも、町民の意識を変える取組をしていくべきだと意見をいただいたので、今のご意見とすり合わせて、担当課と関係課と協議していく。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

（異議なし）

評価：C

⑥高齢者福祉の充実

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

家でサロンを開いており、月2回開催で、毎回12名くらいが集まる。その集まりの中で、お年寄りが老化していく段階が見える。だんだんと家に引きこもるようになるが、なだらかにではなく、急激に歳を取っていくように感じる。フレイルという一歩手前の状況を防ぐことが大事である。まちの公共交通として、じゃがバスがあるが、それだけでは不十分である。池田町でやっている買い物バスや、商店街のイベント時にも臨時バスを出すなどしてはどうか。わたしの町内会では、高齢者を無料送迎している。利用者も増えてきており、高齢者をまちなかに出していくことは、市街地活性化にとっても大

事である。高齢者に足を与えて、フレイルを防ぎ、市街地の活性化につなげたい。取り組みをよろしく願いたい。

久保高齢者支援課長

高齢者の足について、アンケート結果からも大きな課題であると感じる。通院に係る足の確保はしているが、いただいたご意見を含めて、高齢者の移動手段については検討していく。

委員

ベンチとトイレを増やす方法を考えてほしい。国道から駅前まで歩いてみようとする、休むところがない。休憩所やトイレがあることで安心感が生まれ、高齢者が買い物をしに来やすくなり、楽しみを作れるのではないか。

委員

トイレの問題について、各商店で自由に使えるトイレはある。今後、お知らせをしていく。いかにして、高齢者に市街地で買い物してもらえるかを考えている。事業展開を前向きに考えていきたい。

委員

高齢者向けの運動の場に、参加する人を増やそうという取り組みをしている。色々な会があるが、元気な人は多くの会に入っていたり、自分のペースで運動されている方もいる。町内会でも有志で集まって運動をしている。介護認定を受ける前の人もいて、遠くに行くことが出来なくて、会に参加できなくなってきていることもある。どのようにして元気に動いてもらえるかが町内会でも課題になっている。会に入らずに、個人で自由に体を動かすこともある。会を作ることもいいが、どのような状況でも運動できるということを広げるのも大事である。自由選択を考えなければ、これから運動する人を増やしていけない。

委員

質問なのだが、サロン活動への助成はこの課で担当しているのか。サロン活動は、高齢化が進むと月に2回行うことも難しい。人数も減ってきて、規約を満たすことができなくなってくる。高齢化していく中で、少しでもそういう方々に活動してもらうために規約を見直してほしい。

竹内介護予防係長

高齢者支援課介護予防係で担当している。規約にも根拠があり、月2回の開催としているのは、月1回では、フレイル予防に繋がらないためである。月2回だと人が集まらな

いという声も聞くため、規約の見直しを検討していく。

久保高齢者支援課長

町内会でも取り組みをしていただきありがとうございます。町でもサロン事業に関係していない高齢者に対して、電話や訪問をして、こちらからアプローチも進めている。

委員

私の町内会では、集まりが減っていて、月1回、夏場のみ行っている。地域の福祉館を使っており、今の条件でなら参加できるという人たちがいる。報償団体になればいいが、そうはならないため、そのラインの支援ができないものか。

委員

フレイルは月2回程度集まりがないと防げないとあったが、サロン活動を行ったことで、うちに集まらない時も、参加者同士で、自主的に集まっている。フレイルを防ぐきっかけ作りとしても考えてほしい。元気な人たち向けだけでなく、黙っていたら危ないという人たちの支援も考えてほしい。

久保高齢者支援課長

健康状態がそれぞれ違うため、それに応じた事業も展開している。ご意見や実情を踏まえ、今後の取り組みを検討していく。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑦徹底した情報共有と町民参加の促進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

(質問・意見なし)

委員

この施策には関係ないことだが、先日開催されたモンベルの地域活性化セミナーに参加

した。審議会委員宛てにも案内がきていて、まちづくりに関係のある話が聞けると思っていたが、それに関する話がなく、自分としては人集めで呼ばれた気がした。嵐山に関することでもなく、審議会委員として呼ばれたことに意味がなかったのではないか。

有澤政策推進課長

お聞きされた上での感想として、審議会委員としては意味がなかったとされていることは真摯に受け止める。地域のコミュニティや観光、まちなかの再生などを作り上げていくための講演をお願いした。

委員

モンベルのファンにとっては有意義であったと思う。

委員

嵐山の問題は、大変であったと思うが、その中で、興味深い動きがあったのではないか。嵐山の問題をきっかけに、プラットホームめむろでも住民参加で大きく関わられたと思う。自分たちの問題を自分たちで考えようという動きが広がっている。そういったところから、住民参加が進んでいて、前進と考える。

委員

デジタルに関して、芽室町のLINEの友達登録をしているが、農業の面でも、農業用水が壊れていればLINEで連絡をすることができ、便利であると思った。だが、まだ多く知られていないのではと思う。宣伝も含めて、多くの人に便利なことを知ってほしい。

有澤政策推進課長

LINEの登録者数は少しずつ増えている。今は、発信をして、多くの人に便利なことを知って頂く段階である。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑧有効な土地利用の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

成果指標①が増えている。私の町内会にも、7戸新規で入ってきた。小さい町内会でそれだけ入ってきた。町全体でも、子育て世代の転入があるように見受けられるが、どのくらい子育て世代がはいってきているのかはわかるのか。

佐藤都市経営課長

新しく建てた住宅が子育て世帯かどうかは、役場としてはわかるが、都市経営課としてはわかりかねる。

事務局

魅力創造課で、芽室町子育て世帯新生活応援奨励者制度というものを行っており、15歳以下の子供がいる世帯、または妊婦のいる世帯などが、住宅を新築または新築住宅を購入されるときに30万円分の芽室町商工会商品券を交付するというもので、令和5年は、申請件数が39件。中古住宅での制度もあり、それは、令和5年で12件の申請があった。

委員

子育て世代に優しいまちと芽室は言われていたと思うが、現状は、他のまちと比べても際立っていないと思う。しかし、子育て世代が転入してきているのは、ほかのまちよりも魅力的に見えているからであると思うが、どこが魅力的なのか打ち出せると更がいい。

佐藤都市経営課長

先ほど挙げたような子育て世代を対象とした制度を行っていたり、帯広の隣町で土地代が比較的安いこともあって、民間ベースで建て替えが進んでいる。そういった面で、子育て世代の転入があるのだと思う。

事務局

過去3年間で、芽室町子育て世帯新生活応援奨励者制度を利用した方のアンケート結果からも、利便性、宅地が安い、親族・友人が近くに住んでいるなどの結果が出ている。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑨快適な住環境の整備

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

芽室町に道道、国道があるが、街をきれいにすることを考えると整備されている方がいい。町道はきれいに整備されているが、道道は手付かずな状態が多いため、北海道についても予算の問題があると思うが、芽室町として全体をきれいにすることを検討してほしい。植樹帯についても、店舗が入っているところはきれいだが、空き店舗のまえは植樹帯が生えている。できない部分については、芽室町としてきれいにしてほしい。

委員

同感である。国道はきれいだが、まちなかに入るとがっかりする。次の施策に関係することだが、成果指標①の景観に関しての結果には驚く。まちなかの景観は、みんなで考えるべきではないか。

橋本環境土木課長

国道、道道、町道の違いについて、管理者が違う問題はあるが、芽室町全体的話としては、要望を出して承諾を得てまちでやる場合もある。街路樹も同じである。本通り、2丁目通りについては、まちの顔でもあるため、イベントや年末年始の時期は、北海道に連絡をして対応している。これからも維持管理に努めてまいる。

会長

自分たちでやりたいが出来ないところもあり、申請をしたりしている。町内会が頑張っ
てきれいにしているが、道道や国道を見てびっくりする人もいると思う。北海道への働きかけをお願いしたい。

委員

イベントの前だけでなく、公園は人気のある場所のため、一工夫ほしい。街路樹の手がつかないところはまちで頑張してほしい。管轄を超えてできたらいい。

委員

評価については、庁内評価通りである。話は変わるが、斎場についてである。音更町が

斎場を新しくして非常にきれいである。芽室町の斎場を利用したことがあるが、音更町の斎場と比較すると差があると感じる。計画もあると思うが、それがどうなっているのかききたい。要望としては、整備を進めてほしい。

橋本環境土木課長

斎場について、昭和52年の建物で老朽化が進んでいる。以前、耐震診断をして、現在の耐震基準には達しているため、建て替えるのではなく、改修を検討している。地域との協議は済んでおり、費用について算出して、財源を調査している段階である。

委員

意見として、お温水プールのところに温浴施設はあるが、1日の疲れがゆっくりとれるような公衆浴場が欲しい。時間がかかっても追及してほしい。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑩環境保全と再生エネルギーの推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

(質問・意見なし)

ないようなので、評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

⑪廃棄物の抑制と適正な処理

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

P21の下段にある廃棄物の適正処理の記載について、連合会で過去に実施していたが、何か変更はあったのか。

齊藤環境土木課参事

過去はまちが助成していたが、今はまちが無償貸与している。令和元年からサークルをカラス除けにお渡ししている。大きなやり方は変えていないが、サークルは軽くて使いやすいなどの声もあり、まちとして行ったことの結果が今の評価である。

委員

P22の7.外部評価で、農業廃プラの適正処理について意見があるが、農協で年3回集めており、助成もあるため、適正処理はされているとおもう。

齊藤環境土木課参事

他の町で焼却炉を推進しているなら、芽室町も行ったらいいのではないかという意味の意見であると思う。しかし、まちとしては焼却炉の推進はしない。そういった意見があったということで、資料に記されているのだと思う。

委員

ごみの分別について、高齢者用にどうにかならないか。さぼっているのではなく、分別ができないという人が増えている。どうしていけばいいのか。

久保田生活環境係長

特別な事情で分別が難しいのであれば、最低限、燃える・燃えないでゴミを出してもらえれば、回収はしてもらえするため、そのように対応していただきたい。ホームヘルパーを利用していただくのもいい。

委員

一般家庭にも言っているのか。

久保田生活環境係長

一般家庭には言っていないが、高齢者支援課を通じて、最終手段としてお伝えしている。

委員

ありがたい話で安心したが、一般家庭に広まると、皆そうしたいとなってしまうため、条件を付けて制約をつくらないと、せっかくの善意が混乱になってしまうのではないか。

橋本環境土木課長

町が全面的に周知することはしていないが、登録できる方などの条件を制定したほうが良いと感じた。不公平感がでないように考えていく。

委員

P22担当課評価の欄で、「家庭から排出するごみの量は減少傾向」とあるが、リサイクルできるごみを排除した分のことか。どう分別して減らしたいか教えてほしい。

久保田生活環境係長

家庭ごみの排出量3,800+のうち家庭資源ごみ835++資源物回収371+がリサイクル率になっている。コンポストで生ごみの量を減らしていけば、全体のごみの分母が小さくなっていき、リサイクル率は上がっていく。全体の出すゴミの量が減っていけばリサイクル率は上がってくる。

委員

リサイクル率を上げるために、これを取り組んでほしい！ということが伝わってきていない。

齊藤環境土木課参事

1つめの目的として、資源ごみを含めたごみの全体量を減らしていきたいというところ。2つめの目的として、資源ごみをリサイクルして資源化するため、分別を頑張ってもらいたいというところです。

会長

評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

⑫道路交通環境の整備

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質問・意見はあるか。

委員

評価については、Cであると思う。意見として、P24にも農業機械の大型化について書かれているが、機械の大型化が進み、除雪のポールが、機械の種類によっては引っかかることがある。農村部の道路整備については、農業者の意見を聞きながら進めてほしい。道路パトロールについては、以前より進んでいると思うが、学生の通学時間帯に見た時、バス停に大きな雪山ができていた。まちなかもパトロールをしていると思うが、交差点等の雪山、通学路を重点的に見てほしい。

本保道路公園維持係長

スノーポールは更新のタイミングで、S字の支障をきたさないものになっている。農業機械が大型化していて支障をきたしているのは、古い型のものであると思う。ほかに、見通しが悪くなる場所は、赤と白の2m～3mあるスノーポールを設置している。そちらについては、整備工事で設置しているものより内側に設置していることもあるため、春になりご連絡いただければ取り外すなどの対応もしている。

雪を他の敷地に捨てる行為などは、以前通報があったこともあり、指導することができず。バスタッチの雪山は、子どもたちの安全のため、排雪して見通しが良くなるように臨機応変に対応していきたい。

委員

スノーポールについて、矢印型は問題なくて、S字型が低くて引っかかる。S字型が厄介なため、次設置する場合は、矢印型にしてほしい。

本保系道路公園維持係長

矢印型のポールは使用してなく、S字が主流になっている。矢印型に戻すことは、再度検討していきたい。

委員

通学路の雪山についても、通学時間帯で危ないこともあったので、パトロールでみてほしい。

本保道路公園維持係長

朝方のパトロールを強化していく。

委員

町道と道道の差が激しい。町道でなくとも、芽室町の交通量が多いところは対応してほしい。また、北と南で溶ける量が違うため、そこも調整してほしい。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

■ 4 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回第2回審議会は8月28日水曜日。会場と時間は本日と同じく、18:30～役場2階会議室7・8。次回の議案及び資料は本日配付したものを持参いただきたい。

会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

■ 5 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。お疲れ様でした。

20:40